

株 主 の 皆 様 へ



第103期 中間報告書

2017年1月1日 ▶ 2017年6月30日

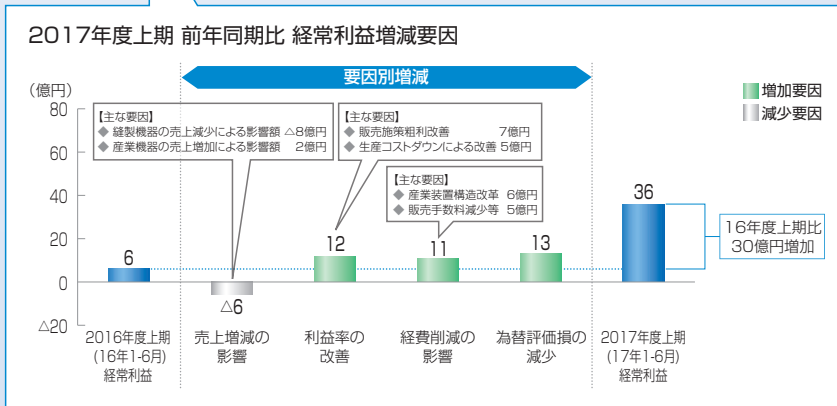
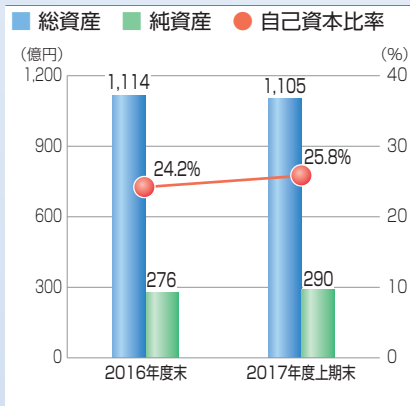
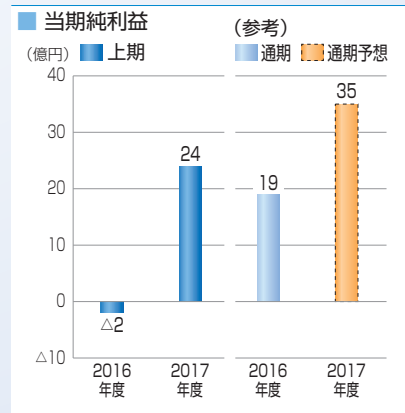
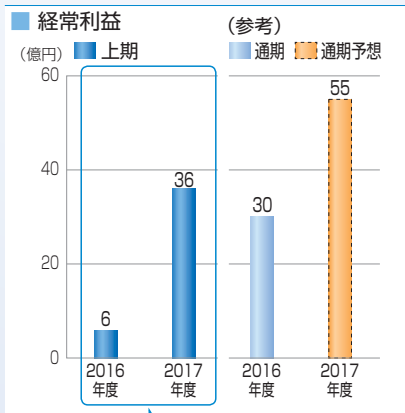
JUKI 株式会社

証券コード: 6440

業績のポイント

売上高 484億円 (前年同期比 26億円の減少)
 経常利益 36億円 (前年同期比 30億円の増加)
 当期純利益 24億円 (前年同期比 26億円の増加)

売上高は、ソリューション営業活動を推進する一方で、取引採算の見直しを含め収益性を重視した販売活動を展開したことから、前年同期比5.1%の減収。利益面は、売上減少の影響はあったものの、上記販売施策、コストダウンによる利益率改善や経費削減効果などにより、営業利益は前年同期比78.4%の増益。また、外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから、経常利益、当期純利益とも前年同期比で大幅な増益。



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第103期中間報告書（2017年1月1日から2017年6月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期において、当社は、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスや工場全体の生産効率を高めるスマートファクトリーなどを提案するソリューション営業活動を推進する一方で、取引採算の見直しを含め収益性を重視した販売活動を展開したこともあり、売上高は483億8千9百万円となりました。

利益面につきましては、売上減少の影響はあったものの、上述の販売施策やコストダウンなどによる利益率改善や経費削減の効果などにより、営業利益は36億1千8百万円となりました。また、前連結累計期間で発生した外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから、経常利益は35億8千9百万円となり、当期純利益は24億4百万円となりました。

2017年12月期通期の連結業績予想につきましては、為替動向等をはじめ不透明な点もありますが、当期の業績及び今後の見通しを踏まえ、売上高1,010億円、営業利益60億円、経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円の修正いたしました。

また、期末配当の予想につきましては、前回公表値の1株につき20円を修正しておりません。

当社は、長期ビジョンとしての「21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ(革新的)なものづくり企業」のもと、今般、当社グループが将来に亘って継続的に成長していくための中期計画「Value up 2022」を策定し、2017年度から2019年度の3年間の中期計画ビジョンを「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」といたしました。

このビジョンを実現するために、グローバルでイノベティブ(革新的)な人材の育成・活用やスマートな事業基盤の構築並びにソリューション営業での価値創造力の強化等に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

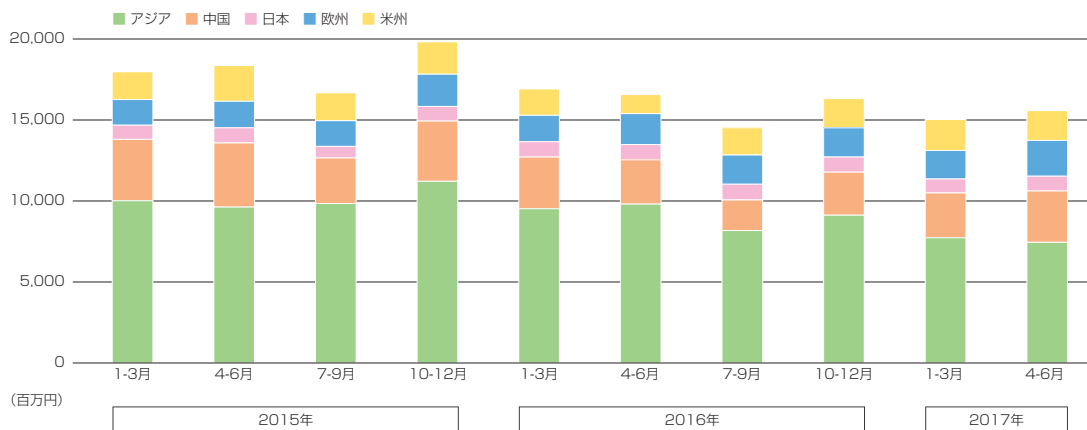
清原 晃

縫製機器&システム事業（工業用ミシン、家庭用ミシン）

市場別では欧米の売上が堅調に推移し、中国での売上も回復基調にあるものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではカーシート向けなどのノンアパレルの

分野では売上は拡大したものの、アパレル市場向けの売上が減少したことなどから、縫製機器&システム事業全体の売上高は325億6千2百万円(対前年同期比9.8%減)となりました。

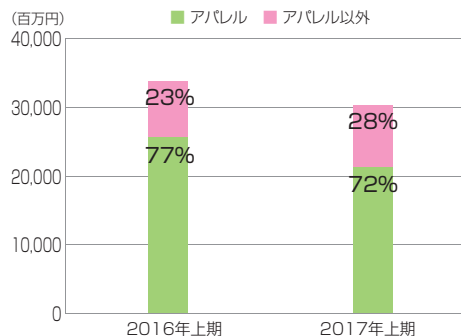
● 工業用ミシン製品の地域別売上高推移（月次集計ベース）



● 工業用ミシン製品の売上高・前年同期比較 (単位：億円)

| | 2016年 (1-6月) | 2017年 (1-6月) | 増減額 |
|-----|-----------------|-----------------|------|
| アジア | 194 | 152 | △ 42 |
| 中国 | 59 | 59 | 0 |
| 日本 | 19 | 18 | △ 1 |
| 欧州 | 35 | 40 | 5 |
| 米州 | 28 | 38 | 10 |
| 合計 | 335 | 306 | △ 29 |

● アパレル・アパレル以外の売上高比率推移 (工業用ミシン)

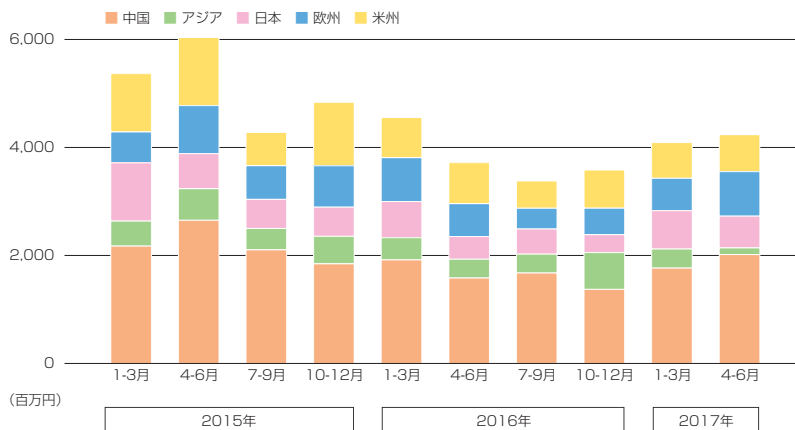


産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

市場別では最大の市場である中国をはじめとして、設備投資需要の拡大に支えられて産業装置関連の売上が堅調であったこと、製品別ではスマートファクトリー提案で展開する

省力化装置や受託加工等のグループ事業の売上が伸びたことなどから、産業機器&システム事業全体の売上高は156億5千9百万円(対前年同期比6.3%の増)となりました。

● 産業装置の地域別売上高推移（月次集計ベース）（含むパーツ・サービス）

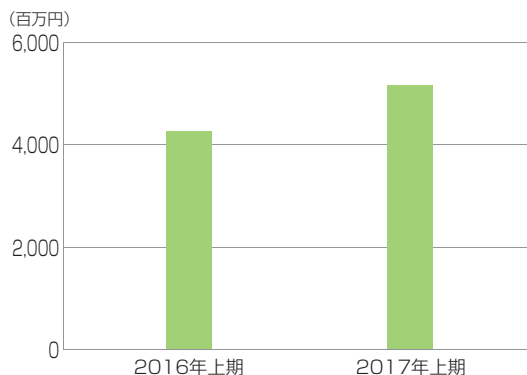


産業装置の売上高：前年同期比較

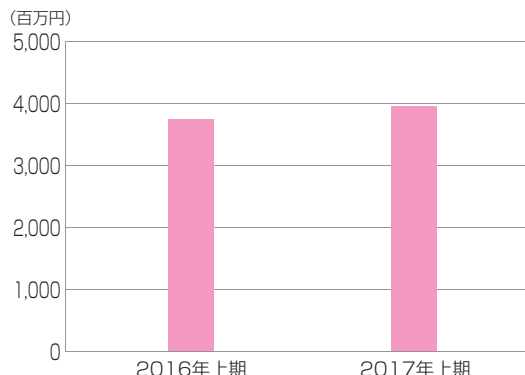
（単位：億円）

| | 2016年 (1-6月) | 2017年 (1-6月) | 増減額 |
|-----|-----------------|-----------------|-----|
| 中国 | 35 | 38 | 3 |
| アジア | 8 | 5 | △ 3 |
| 日本 | 11 | 13 | 2 |
| 欧州 | 14 | 14 | 0 |
| 米州 | 15 | 13 | △ 2 |
| 合計 | 83 | 83 | 0 |

● グループ事業の売上推移



● パーツ事業の売上推移



1. 環境認識

経済環境

- **世界経済の不透明・不確実な状況は継続**
・ TPP不参加（米国）、EU離脱（英国）
- **電子部品・工作機械業界の設備投資需要は好調**
・ 情報通信（IoT）分野の技術革新、労働人口不足

顧客ニーズ

- **スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資**
・ デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入
- **新しいイノベーション（技術革新）への期待**
・ AI、ロボット、クラウド等への関心拡大

企業への要請

- **経営体制の合理化**
・ コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- **利益重視の経営**
・ 毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

2. 2017年度下期の経営方針と通期業績予想

下期の経営方針

縫製機器&システム

新規開拓、新商品拡販、ソリューション提案力の強化、高付加価値分野へ資源再配分

産業機器&システム

新商品拡販、ソリューション提案力の強化、ユニット内のシナジー発揮

財務基盤の強化

在庫・有利子負債の削減などを徹底

継続的な増収増益基盤の確立

| | (億円) | | | 【参考】 (億円) | |
|-------------|------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------|
| | 2016年度実績 通期 (1-12月) | 2017年度業績予想 (前回) 通期 (1-12月) | 2017年度業績予想 (今回) 通期 (1-12月) | 2017年度 上期 (1-6月) 実績 | 2017年度 下期 (7-12月) 予想 |
| 売上高 | 977 | 1,010 | 1,010 | 484 | 526 |
| (縫製機器&システム) | (682) | (700) | (680) | (325) | (355) |
| (産業機器&システム) | (295) | (310) | (330) | (157) | (173) |
| 営業利益 | 47 | 48 | 60 | 36 | 24 |
| 経常利益 | 30 | 37 | 55 | 36 | 19 |
| 当期純利益 | 19 | 22 | 35 | 24 | 11 |
| 配当 | 通期:20円/株 | 通期:20円/株 | 通期:20円/株 | — | 期末:20円/株 |
| 為替レート | 1ドル=110円 | 1ドル=105円 | | 1ドル=113円 | 1ドル=105円 |

1. 工業用ミシンの重点施策

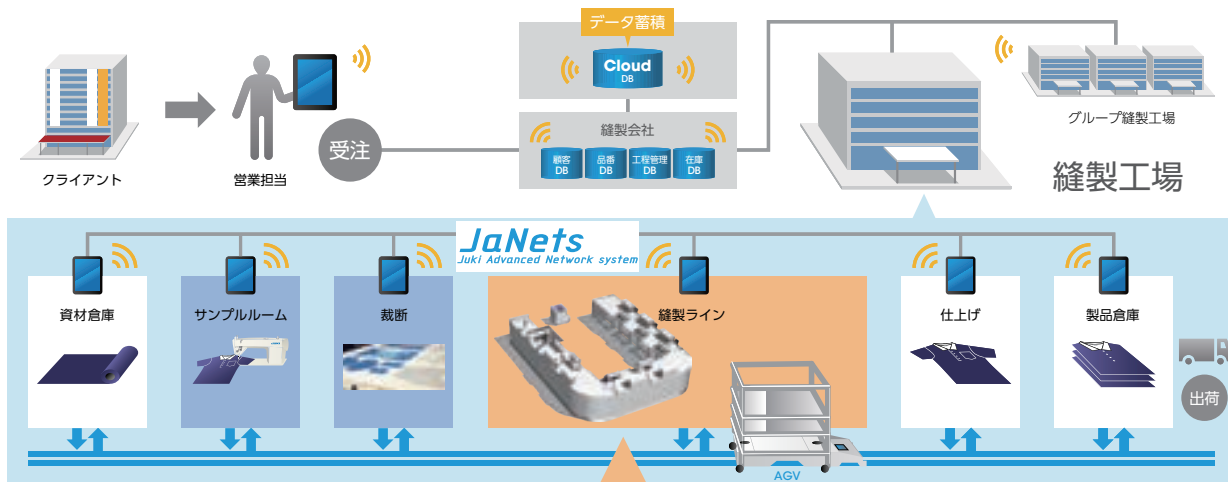
製品別戦略

| | |
|--------|-----------------------------|
| 布帛・自動機 | デジタルソーイングシステムでのスマートファクトリー提案 |
| ニット | ソリューション提案によるハイエンドユーザー攻略 |
| ノンアパレル | 拡大する自動車関連需要の取り込み |
| 提携商品 | パッケージ商品によるワンストップソリューション |

市場別戦略

アジア地域における需要取り込み強化
 ・新規顧客開拓、新商品拡販、スマートソリューション提案
 欧米での自動車市場攻略ノウハウを中国、アジア市場で水平展開

2. JUKIが提案するスマートファクトリー



NEW



本縫いデジタルミシン
DDL-9000C

NEW



ニット用デジタルミシン
MF-7900

NEW



ボロシャツ前立て装置付き自動機
AMS-221ENSS3020

NEW



靴紐ループ付け自動機
AB-1360

NEW



ノンアパレル用ミシン(頭部回転仕様)
AMS-251

1. 家庭用ミシンの重点施策

製品別戦略

家庭用ミシン

新製品の販売拡大
量販店、路面店等での販売強化

ロックミシン

ヘビーユーザー向けロックミシンの販売拡大

キルト・職業用

新製品の販売拡大
キルトミシンQVPのシリーズ化充実による販売及び販路の拡大

市場別戦略

日本、米国、欧州

- ・新製品やキルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
- ・展示会やワークショップ等での情報発信強化

アジアの販売網を整備・拡充



1. 産業装置の重点施策

製品別戦略

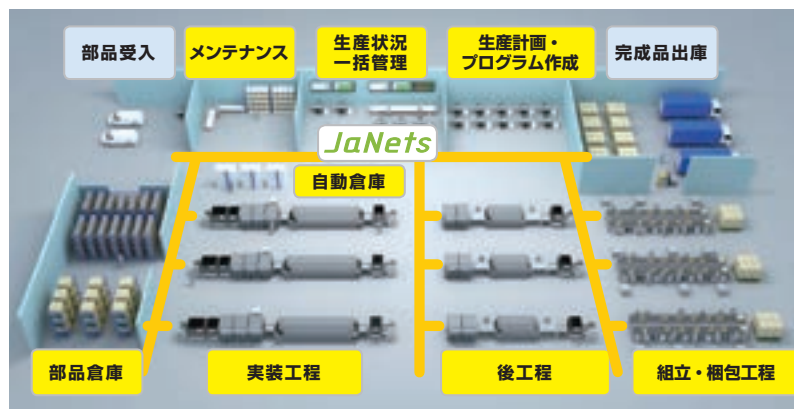
| | |
|-------|-------------------|
| マウンタ | RS-1 (新製品)販売拡大 |
| 検査機 | RV-2-3D (新製品)販売拡大 |
| 省力化装置 | JMシリーズを核としたライン提案 |
| 自動倉庫 | 自動搬送機を絡めた自動化提案 |

市場別戦略

クロスボーダー案件の捕捉強化
 中小EMSから、メーカー・車載・大規模EMSへターゲット拡大
 省力化装置、自動倉庫、検査機を切り口に新規顧客開拓を推進

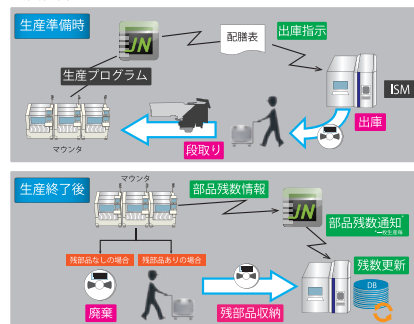
2. JUKIが提案するスマートファクトリー

■ JUKIのスマートソリューションが関連する領域



JaNets Juki Advanced Network system

お客様の工場全体の生産性向上に貢献する、
 実装統合システムソフト



1. グループ事業の重点施策

重点施策

重要顧客の間口拡大による売上拡大

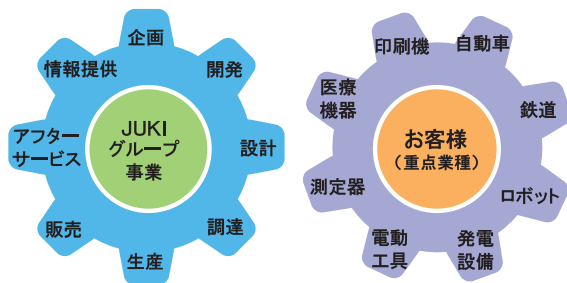
・展示会・商談会・コンサル等による商談機会拡大

独自製造技術、独自製品の商品化による売上拡大

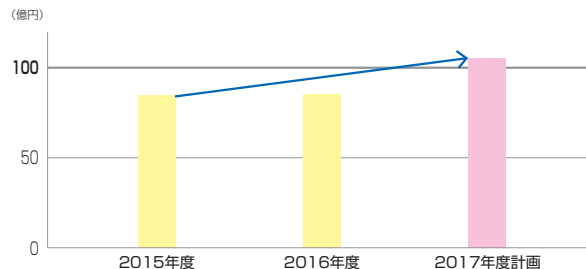
・完成品・ユニット受託強化

JUKI電子工業、JUKI吉野工業、JUKI秋田精密 ⇒ 7/1合併

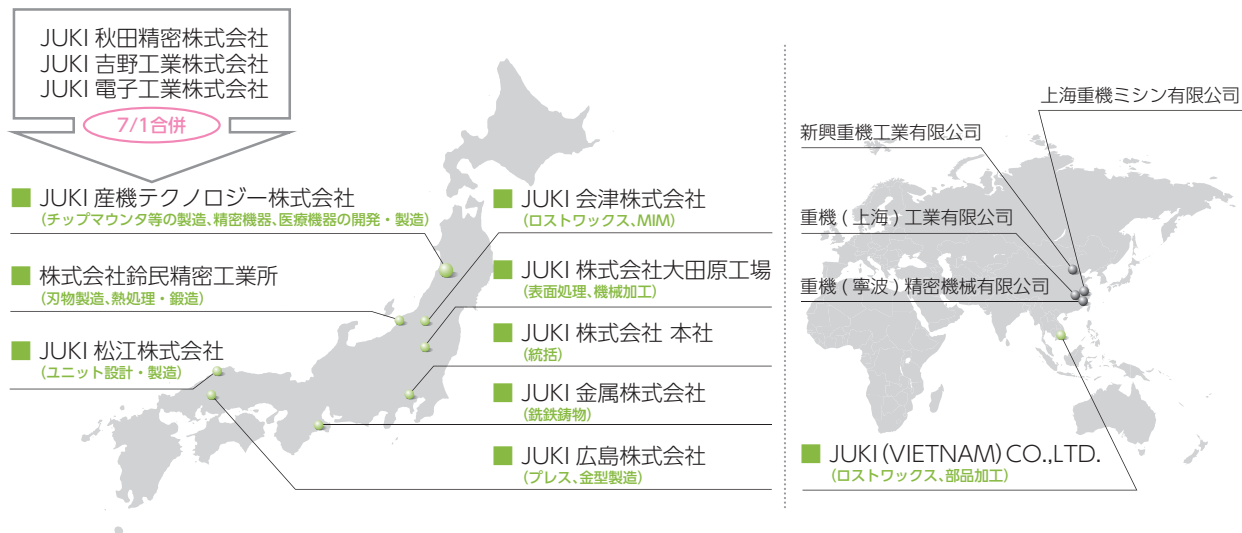
= [JUKI産機テクノロジー] ～生産設備再配置、間接コスト低減



● 売上推移（計画）



生産グループ会社（国内7社、海外1社）による、JUKIのものづくり力とネットワークを活用



1. カスタマービジネスの重点施策

重点施策

ネットセールス(パーツWebサイトの活用)によるパーツ・装置の販売拡大

・既存顧客のサイト活用促進、展示会での広告宣伝活動

JUKI製品関連パーツの納品体制強化

・生産部門との連携による供給体制整備

ワールドワイドの販売網の活用

・販促ツール・拡販アイテムの拡充、製品営業との連携強化

縫製機器、産業装置のお客様に、パーツ販売、カスタマーサポート、
技術提案をワンストップかつ迅速にご提供し、お客様へのサービスを大きく拡充



中間連結財務諸表（要旨）

中間連結貸借対照表

(百万円)

| 科目 | 前期 2016年12月31日現在 | 当第2四半期 2017年6月30日現在 | 増減 |
|--------------|---------------------|------------------------|---------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 80,066 | 79,630 | △ 436 |
| 固定資産 | 31,298 | 30,855 | △ 443 |
| 資産合計 | 111,365 | 110,486 | △ 879 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 61,254 | 58,849 | △ 2,405 |
| 固定負債 | 22,528 | 22,622 | 94 |
| 負債合計 | 83,782 | 81,472 | △ 2,310 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 28,412 | 30,230 | 1,818 |
| その他の包括利益累計額 | △ 1,406 | △ 1,775 | △ 369 |
| 非支配株主持分 | 576 | 559 | △ 17 |
| 純資産合計 | 27,582 | 29,013 | 1,431 |
| 負債純資産合計 | 111,365 | 110,486 | △ 879 |

中間連結損益計算書

(百万円)

| 科目 | 前第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで | 当第2四半期 2017年1月1日から 2017年6月30日まで | 増減 |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------|
| 売上高 | 50,991 | 48,389 | △ 2,602 |
| 売上原価 | 35,995 | 32,949 | △ 3,046 |
| 売上総利益 | 14,996 | 15,439 | 443 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,967 | 11,821 | △ 1,146 |
| 営業利益 | 2,028 | 3,618 | 1,590 |
| 営業外収益 | 551 | 501 | △ 50 |
| 営業外費用 | 1,973 | 531 | △ 1,442 |
| 経常利益 | 606 | 3,589 | 2,983 |
| 特別利益 | 367 | 38 | △ 329 |
| 特別損失 | 230 | 51 | △ 179 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 744 | 3,576 | 2,832 |
| 法人税等 | 1,169 | 1,158 | △ 11 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △ 425 | 2,417 | 2,842 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △ 193 | 12 | 205 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △ 232 | 2,404 | 2,636 |

会社情報 (2017年6月30日現在)

■ 会社概要

| | |
|--------|---------------------|
| 商号 | JUKI株式会社 |
| 創立 | 1938年12月15日 |
| 資本金 | 180億4,471万円 |
| 本社 | 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1 |
| 決算期 | 12月 |
| 営業品目 | 工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他 |
| 従業員数 | 5,858名（連結） |
| 連結子会社数 | 30社 |

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 10,790名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

■ 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,340 | 7.83 |
| 株式会社みずほ銀行 | 938 | 3.14 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 762 | 2.55 |
| 日本生命保険相互会社 | 732 | 2.45 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW | 708 | 2.37 |

■ 所有者別株式分布状況

